

9 病害虫防除

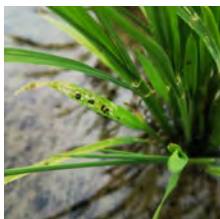
POINT 1 主な病害虫

直播栽培でも移植栽培と同様に、発生予察を徹底し病害虫の早期発見を心がけましょう！

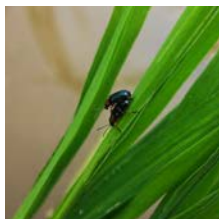
イネドロオイムシ



卵塊



幼虫



成虫

イネミズゾウムシ



成虫



成虫の葉の食害

フタオビコヤガ



幼虫の葉の食害



船を作る

ニカメイガ ニカメイチュウ



幼虫の茎への侵入



アワヨトウ



株元近くに発生



幼虫

顔に「八の字」

アカヒゲホソドリカスミカメ

成虫



卵



1 齢



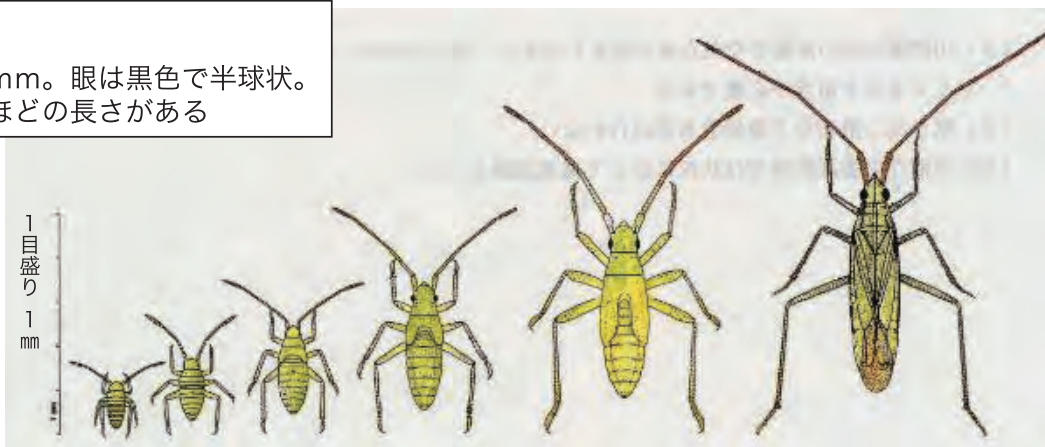
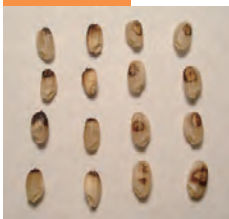
5 齢



<特徴>

成虫の体長5～6mm。眼は黒色で半球状。
触角は紅色で体長ほどの長さがある

斑点米



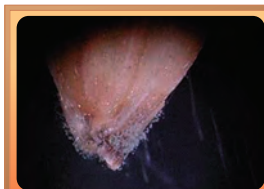
写真・図提供/中央農業試験場・北海道米麦改良協会・パイエルクroppサイエンス

いもち病

病原:カビ

Pyricularia oryzae Cavara

種子～出穂まで



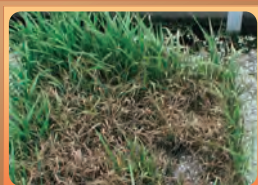
1 種初に形成した
いもち病菌の孢子



2 苗いもち



3 玄米に形成した
いもち病菌の孢子



4 本田での置苗に早期発病



5 本葉での早期発病



6 置苗から激発

葉いもち病

★★★★

いもち病の病斑を見極めよう!



7 進展型

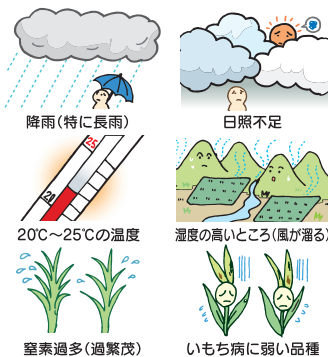


8 慢性型



にせいもち

葉いもちの早期発見のポイント



9 下葉の病斑



下葉の予察の徹底 (6月中旬以降)

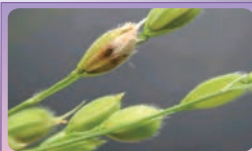
いもち病が出やすい条件

出穂～成熟



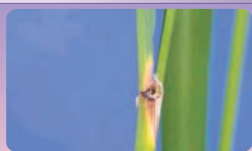
10

節いもち



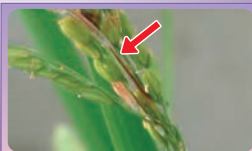
11

もみいもち



12

葉節いもち



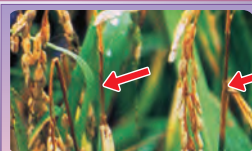
13

枝梗いもち



14

穂首いもち



15

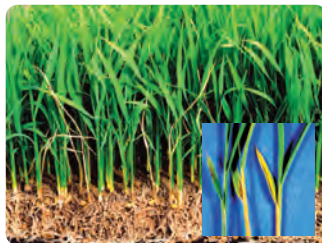
ミゴいもち



16

ズリ込み症状

褐条病



紅変米



紋枯病



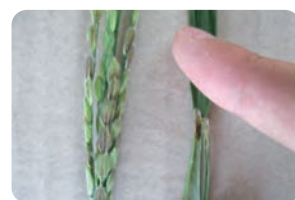
水稻主要病害



ばか苗病



褐変穂



葉しょう褐変病



写真提供 / 中央農業試験場 (田中) ・北海道米麦改良協会・空知農業改良普及センター・ホクサン・北興化学

POINT 2 イネドロオイムシの要防除水準

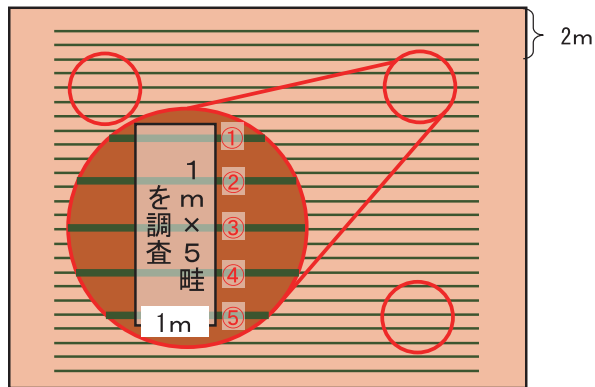
発生密度の簡易調査法

- 5列1m当たりの「幼虫コロニー」を数える
幼虫コロニーとは1卵塊(10～20卵)由来の幼虫が寄生し、葉の食害が発生している部分のひとつとります。
- 調査時期と方法
 - ・ 回数 … 7月上～中旬に1週間毎に3回程度。
 - ・ 場所 … 畦畔から2m程度の位置で畦5列、各1mを1ほ場に3カ所以上。



要防除水準に基づいた防除

- 要防除水準
幼虫コロニー数が、植え列1m当たりに1コロニーで約10%前後の減収傾向となります。
要防除水準として、幼虫コロニー数1個/m以上で防除を実施しましょう。
- 薬剤防除
要防除水準を超えた場合には、直ちに茎葉散布(トレボン剤等)を実施しましょう。
例年発生量が多いほ場では種子塗抹処理剤(キラップシードFS等)の活用も検討しましょう。



POINT 3 基幹防除体系(いもち病・カメムシ)

基幹防除の徹底

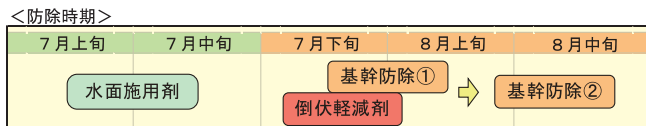
- 基幹防除1回目 … 出穂期に実施を

例年8月上旬から出穂が始まってきます。時期を逃すことなくいもち剤・カメムシ剤の防除を実施しましょう。

- 基幹防除2回目 … 1回目の7～10日後の実施を

油断は禁物です。近年、出穂後の天候が高温傾向が多く、いもち病の発生に対して注意が必要となっています。カメムシに対しても同様に防除を実施しましょう。

※出穂のバラつきが大きい場合は基幹防除後の防除も検討しましょう。



出穂期とは？

全穂数の40～50%が出穂した日

水面施用剤の検討

いもち病の耐病性を考慮し、品種によっては幼穂形成期頃に水面施用剤の施用を検討しましょう。幼穂形成期は例年7月10日前後となります。

また、風の通りが悪いところや、例年いもち病が発生しやすいほ場は予防防除をしっかりと実施しましょう。

倒伏軽減剤の検討

茎数が十分に確保され、草丈の長いほ場では倒伏の危険性があります。

倒伏の発生は収量減と共に品質の低下にもつながります。

薬剤の施用時期・施用量を十分に確認し防除を実施しましょう。

